

お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

教会の働き

- 9月4日(木)午後7時から女性宣教会役員会があります。
- 9月14日(土)～15日(日)、教会の温泉旅行が予定されています。場所：河口湖ホテル美富士園
主の恵みの中で、神の家族として豊かな交わりを持つ大切な機会です。どうぞ祈りをもって準備し、心を合わせて参加できるようにいたしましょう。
- 信州祈り会が9月8日(月)チャペル犀川恵みの家です。お祈りをお願いします。
- 男女宣教会の定期礼拝が9月11日(木)にあります。お祈りとご参加を…
- 9月教会牧会会議が7日(日) 主日夕方賛美礼拝後にあります。関係者は資料を準備して下さい。

聖徒の為に祈りましょう。

- ・コロナとインフルエンザから守られますように。
- ・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
- ・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんの為に。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)



祝福された信仰を得る道

コリント第二 4章 7～15

7 私たちは、この宝を土の器の中に入れていますが、それは、この測り知れない力が神のもの

であって、私たちから出たものではないことが明らかになるためです。8 私たちは四方八方から苦しめられますが、窮することはありません。途方に暮れますが、行き詰まることはありません。9 迫害されますが、見捨てられることはありません。倒されますが、滅びません。10 私たちは、いつもイエスの死を身に帯びています。それはまた、イエスのいのちが私たちの身に現れるためです。…15 すべてのことは、あなたがたのためであり、恵みがますます多くの人々に及んで感謝が満ちあふれ、神の栄光が現れるようになるためなのです。

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 韓芽唯(賛美リーダー) 高木はつ江(祈祷)

夕方賛美礼拝 韓芽唯(賛美リーダー) 北原孝子(祈祷)

水曜礼拝 高木はつ江(司会) 松島スヤンティ(祈祷)

礼拝時間案内

主日礼拝	AM 11:00
夕方賛美礼拝	PM 2:30
教会学校(小学生まで)	AM 9:50～10:30
水曜礼拝	PM 7:00
祈祷会・火・木曜日	PM 8:30～9:30
土曜日	PM 8:00～9:00

週報 2025-35 号

2025.8.31

神の国とその義を 第一に求める

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

www.iidahc.com

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)

副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝		AM 11:00～
	賛美リード	柳澄香
信仰告白	(使徒信条)	
代表祈禱	鈴木真由美	
特別賛美	インマヌエル聖歌隊	
お知らせ		
聖書箇所	コリント第二 4:7-15	
	(祝福された信仰を得る道。)	
メッセージ	柳承吉牧師	
賛美	神の家族	
祝禱	柳承吉牧師	

夕方賛美礼拝		PM 2:30～
	賛美リード	柳澄香
代表祈禱	平澤寿子	
聖書箇所	詩編 51:12	
メッセージ	柳 承吉牧師	
(楽しむ信仰生活)		
主の祈り		

水曜礼拝		PM 7:00～
司 会	松島スヤンティ	
代表祈禱	高木はつ江	
聖書箇所	ローマ書 7:4-6	
メッセージ	柳 承吉牧師	
ローマ書 7 章の概略(2)		

今週の御言葉

「祝福された信仰を得る道」

コリント人への手紙第二 4 章 7～15 節

ハレルヤ。主の恵みと平安が、今日も皆さんの心に豊かにありますようにお祈りいたします。私たちは人生の歩みにおいて、避けなければならない生き方があります。それは、暗い環境に同化してしまうことです。私たちは、自分の望む環境を選んで生まれてきたものではありません。神がその場に生まれるように定めてくださいました。だからこそ、その環境の中でも神を信じ、創造的に生きる道があるのです。

自分の内に「宝」を持つ

パウロは語ります。「私たちは、この宝を土の器の中に入れて 있습니다。それは、この測り知れない力が神のものであって、私たちから出たものではないことが明らかになるためです。」(7 節) 私たちは土の器のように弱く、壊れやすい存在です。しかし、その内にキリストという宝が宿るとき、無限の力が現れます。外見ではなく、中心にイエスをお迎えしているかが大切です。落胆せず、恨まない

パウロは続けてこう言います。「私たちは四方八方から苦しめられますが、窮することはありません。途方に暮れますが、行き詰まることはありません。」(8 節) 道が閉ざされることがあります。しかし、それは終わりではなく、新しい道を開くためです。だから私たちはどんな状況でも落胆せず、恨むことなく、感謝をもって歩むことができます。

御言葉に徹底して従う

さらにパウロは語ります。「私たちは、いつもイエスの死を身に帯びています。それはまた、イエスのいのちが私たちの身に現れるためです。」(10 節)「自分が死んでキリストが生きる」。これは、御言葉に徹底して従う姿勢です。損に見えることも、神の御心なら従順に歩みなさい。人間的に得と思えることでも、御言葉に反するならばやめなさい。その時こそ、祝福の門が開かれます。

家庭においては、否定的な言葉ではなく、励ましと希望の言葉を語りましょう。「できる」「神様が助けてくださる」と信仰の告白をする家庭は、光と喜びに満ちます。教会においては、互いの短所ではなく長所に目を留めましょう。褒め合い、励まし合う教会に神の祝福が豊かに注がれます。批判ではなく感謝を口にするとき、教会は力強い共同体となります。個人においては、自分の失敗を恐れず、信仰によって乗り越えましょう。失敗は終わりではなく、神の成熟への門です。自分の無力を知るときこそ、神の全能が現れます。

愛する皆さん、信仰とは「今日より明日が良くなる」と信じることです。暗ければ暗いほど、星は輝きます。失敗の中にあっても、それを「祝福の種」としてくださる神を信じましょう。

「土の器」である私たちに宝なるイエス・キリストがおられるなら、どんな状況でも倒れません。落胆せず、御言葉に従って歩むなら、神が備えておられる最善の未来が必ず開かれます。この「祝福された信仰の道」を歩む皆さんとなりますように、主イエス・キリストの御名によって祝福いたします。アーメン。